

軽量コンクリートブロック風タイル 施工方法

- 1 タイルの裏面にタイル用弾性系接着剤を塗布します。
5カ所くらいに分けて少し山盛りになるようにし壁に圧着します。



※カットは鋸で裏面に筋を入れ割ると折れます。



カットする際は
ダイヤモンドカッター
や塩ビパイプ切断用鋸
がお勧めです。
サンダーでのカットも
容易です。

- 2 目地セメントを水で練り絞り袋に入れて
いきます。
※目地セメントをタイルの表面に付けな
いよう注意します。



目地セメントについて

市販の目地セメントを
ご使用ください。
(NS目地セメント等)

- 3 目地セメントが固まる前にコテでならします。



※目地はコテでならさずラフな仕上げも可能です。



タイル貼り付け用ボンド 参考例

弾性系の接着剤を使用することにより下地の動きの影響を軽減できます。
変性シリコーン樹脂、変成シリコーン・エポキシ樹脂を使った接着材が一般的です。従来の変成シリコーン・エポキシ系樹脂と比較して、ウレタン・エポキシ樹脂系の方がより高弾性な物性が得られ、耐水・耐アルカリ性にも優れた性能を持っています。



タイルメント フレックスマルチ
(変成シリコーン・エポキシ樹脂)



セメダイン タイルエース Pro
(変性シリコーン樹脂)



(株)大建化学 ネオピタ
(変成シリコーン・エポキシ樹脂)

軽量コンクリートブロック風タイル使用上の注意点

コンクリートブロック風タイルは、軽量なため強度が限られています。そのため、ボードの継ぎ目で割れが発生する場合があります。特に木造建築の壁面等で使用される場合については、ボードが動きやすいため、割れが発生しやすくなります。できるだけ下地を固定し、弾性系の接着剤を使用することで、下地の動きの影響がブロック風タイルに伝わらないようする事により割れの発生を抑える事ができますが、ボードの動きによっては完全に割れを防ぐことはできません。ただし、割れがそのまま剥離に繋がる事はありません。安心してご使用いただけます。また、割れが出た場合、目立たなくする補修方法がありますので、長くご使用いただけます。

またボードの継ぎ目とは別に細かいクラックが入る場合もあります。セメント製品において発生する収縮クラックとなります。剥離等の心配はなく、補修も可能です。小さいクラックについては、製品上の特徴として、ご理解いただければと思います。